

「平成26年春季労使交渉・協議対策」講演会

【秋経協・二水会】第66回(2月)例会

日 時:平成 26年 2月 6日(木)

会 場:秋田ビューホテル 5階【牡丹の間】



【(一社)日本経済団体連合会 労働政策本部 主幹 池田 三知子 氏】

去る、2月6日(木)秋田ビューホテルに於いて「秋経協・二水会」の主催による毎年恒例の「春季労使交渉・協議対策」講演会が開催された。

講師は、日本経団連・労働政策本部・主幹の池田 三知子 氏。「2014版」経営労働政策委員会報告を中心に春季の労使交渉・協議における経営側のスタンスについて、日本経団連の基本的な考え方を述べた。

本年度の委員会報告書の副題は、【～デフレの脱却と持続的な成長の実現に向けて～】と題し、報告書の各章に関する要点についての説明があった。

第1章は「我が国を取り巻く経営環境と経済成長に向けた課題」について、安倍政権の経済政策による経済環境の大幅な改善。持続的な経済成長の実現のため、規制改革やTPPをはじめとする経済連携の推進、成長戦略の着実な実行、また、経済界として、経済の好循環実現に積極的に取り組むことなどが述べられた。

第2章では「多様な人材の活用」として、雇用・労働市場の改革とあわせて、生産向上やイノベーション創出に向け、企業の人材戦略は極めて重要であることを強調された。

最後の第3章は、「2014年春季労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢」について、「労使パートナーシップ対話」充実の重要性、労働側スタンスへの見解、経営側のスタンスなどの基本的姿勢についての報告があった。

講演会終了後、日本経団連、池田講師にもご臨席を賜り、秋経協・二水会のメンバー及び秋経協会会員による情報交換会が開催された。



【二水会・渡辺代表幹事 開会ご挨拶】



【講演会の様子】



【講演会終了後の情報交換会】